

R RIVIERA

リビエラライフのためのマガジン

NO.
23

SUMMER 2023

FEATURES

6 RIVIERA INTERVIEW VOL.21～前編～

洋画家 東京藝術大学名誉教授 日本藝術院会員

絹谷 幸二さん

TOPICS

4 リビエラカントリークラブ

2031年に全米オープン開催決定

20 SUMMER MARINA 2023

REGULARS

2 世界はつながっている 78歳にして思うこと

リビエラグループ

代表取締役会長 渡邊 昇

14 RIVIERA Sustainability Project

「第4回 LOVE OCEAN」開催レポート

22 Pick Up



表紙：リビエラ逗子マリーナ

発行
株式会社リビエラ
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120
www.riviera.co.jp

広告のお問合せ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120

CHIEF EDITOR
渡邊 華子

EDITOR
内村 朱希
石井 小百合

WRITER
丸山 けんおう (P2、P6～11)

PHOTOGRAPHER
Arpit Mehta (P2)
宮本 卓 (P4～5)

※本誌に掲載している情報、日程、
営業日、営業時間、料金などは予告
なく変更される場合がございます。
最新情報は各ページに記載されて
いますwebサイトをご覧ください。

奥深く尊く味わい深い人生 エキスの時代をゆつくり楽しむ

― 人生は、晩年に向かうほど奥
深く、尊く、味わい深い ―

積み重ねてきた人生のエキスが
凝縮し、歳を重ねたからこそ感じ
られる喜びを味わい、集大成とし
て人生の収穫期を過ごせると私は
思っています。

今年も歳を重ねて、先月78歳に
なりました。人生を登山に例えれ
ば、山頂は過ぎ、今は下山途中。

頂上だけを見て脇目も振らず登
っていた「上り坂の時代」には見
えなかったことも、心に余裕があ
る「下り坂の時代」の今、視界が開
け、一歩一歩踏みしめながら人生
の景色を味わうことができます。

世界はつながっている 78歳にして思うこと

リビエラグループ
代表取締役会長
渡邊 昇



そして下り坂の時代は、人生を究
めるに相応しく、楽しみは無限に
広がります。

孫たちとの語らい、料理、食事、
エクササイズ、ウォーキング、ピ
アノ、ヨット、そして仕事。これが
私のウェルビーイングの源です。
誰とどう過ごすか、誰と何を食べ
るか。身体からの声に耳を澄ませ
て健康管理をしていくことで、人
生が実に豊かになります。

60歳から始めたピアノは、本
来聴く方が得意で、しかも楽で
すが、自分で弾くことで感覚が
研ぎ澄まされていくことを実感
しています。

また大自然を全身で味わい、心
が穏やかで豊かになるヨット。頑
強で智力が備わった12人のクルー

たちと、約100年前の大型木造
帆船「シナラ」でのセーリング。
それとはまるで異なる軽やかでエ
キサイティングな「クオリア R I
V I E R A（スワン58）」の走り。
70歳からのヨットビギナーですが、
「風が読めます！」と、耳元でさ
さやかれ、すっかり気分良くして
セーリングしています。
海は世界につながり、夢とロマ
ンが詰まっています。

世界の海はひとつ 人の気持ちもひとつ

美しく豊かな海を守りたい。そ
して愛する相模湾をより活性化さ
せ魅力を伝えていきたい。その一
心で始めた「LOVE OCEAN
プロジェクト」が、またひとつ大
きな広がりを見せています。

来たる9月開催のG20（ニュー
デリー首脳会議）とのコラボレ
ーションとなり、その関連イベン
トとして、「G20メガ・ビーチ・クリ
ンアップ」をインド大使館と環
境省と共同開催しました。

ビーチクリーンのみならず、多
彩なコンテンツを展開。人と人と
がつながることで、私たちも常に
多くの学びをいただいています。
海はひとつ。気持ちもひとつです。

歩みはそれぞれ でも同じリビエラファミリー

米国ロサンゼルス「リビエラ
カントリークラブ」(RCC)から
嬉しいニュースが届いています。
2031年の全米オープン開催地
に正式決定。83年ぶりに全米オ
ープンがRCCに戻ってきます。

RCC開業100周年の2026
年には全米女子オープン、2028
年にはロス五輪男女ゴルフ競技。
RCCでは新時代に向けた挑戦
が、目白押しに続きます。

RCCもリビエラ松鶴楼上海も、
リビエラ逗子マリーナやリビエラ
シーボニアマリーナ、シナラも、
かつてのオーナーが私に託したも
のです。現在はその法人格
で所有運営しています。

歩んできた歴史も背負う伝統
も異なりますが、それぞれのリ
ビエラが、それでもひとつのリ
ビエラファミリーだといえるの
は、普遍的なイズムで結ばれて
いるから。

このリビエライズムと革新との
掛け合わせが、どんな化学反応を
起こしていくのか、見守っていき
たい。それぞれに歩むファミリー
とともに。

TOURNAMENTS

MAJOR TOURNAMENTS & OTHERS

1948	U.S. OPEN (全米オープン)	Ben Hogan
1983	PGA (全米プロゴルフ選手権)	Hal Sutton
1995	PGA (全米プロゴルフ選手権)	Steve Elkington
1998	U.S. Senior Open (全米シニアオープン)	Hale Irwin
2012	NCAA (全米学生選手権)	Thomas Pieters
2017	U.S. Amateur (全米アマチュア選手権)	Doc Redman

Invitational

2020	Genesis Invitational	Adam Scott
2021	Genesis Invitational	Max Homa
2022	Genesis Invitational	Joaquin Niemann
2023	Genesis Invitational	Jon Rahm

PGA Los Angeles Open

1929	Los Angeles Open	Macdonald Smith
1930	Los Angeles Open	Denny Shute
1941	Los Angeles Open	Johnny Bulla
1943	No Tournament	—
1945	Los Angeles Open	Sam Snead
1946	Los Angeles Open	Byron Nelson
1947	Los Angeles Open	Ben Hogan
1948	Los Angeles Open	Ben Hogan
1949	Los Angeles Open	Lloyd Mangrum
1950	Los Angeles Open	Sam Snead
1951	Los Angeles Open	Lloyd Mangrum
1952	Los Angeles Open	Tommy Bolt
1953	Los Angeles Open	Lloyd Mangrum
1973	Glen Campbell-Los Angeles Open	Rod Funseth
1974	Glen Campbell-Los Angeles Open	Dave Stockton
1975	Glen Campbell-Los Angeles Open	Pat Fitzsimons
1976	Glen Campbell-Los Angeles Open	Hale Irwin
1977	Glen Campbell-Los Angeles Open	Tom Purtzer
1978	Glen Campbell-Los Angeles Open	Gil Morgan
1979	Glen Campbell-Los Angeles Open	Lanny Wadkins
1980	Glen Campbell-Los Angeles Open	Tom Watson
1981	Glen Campbell-Los Angeles Open	Johnny Miller
1982	Glen Campbell-Los Angeles Open	Tom Watson
1984	Los Angeles Open	David Edwards
1985	Los Angeles Open	Lanny Wadkins
1986	Los Angeles Open	Doug Tewell
1987	Los Angeles Open presented by Nissan	Chen Tze-chung
1988	Los Angeles Open presented by Nissan	Chip Beck
1989	Nissan Los Angeles Open	Mark Calcavecchia
1990	Nissan Los Angeles Open	Fred Couples
1991	Nissan Los Angeles Open	Ted Schulz
1992	Nissan Los Angeles Open	Fred Couples
1993	Nissan Los Angeles Open	Tom Kite
1994	Nissan Los Angeles Open	Corey Pavin
1995	Nissan Open	Corey Pavin
1996	Nissan Open	Craig Stadler
1997	Nissan Open	Nick Faldo
1999	Nissan Open	Ernie Els
2000	Nissan Open	Kirk Triplett
2001	Nissan Open	Robert Allenby
2002	Nissan Open	Len Mattiace
2003	Nissan Open	Mike Weir
2004	Nissan Open	Mike Weir
2005	Nissan Open	Adam Scott
2006	Nissan Open	Rory Sabbatini
2007	Nissan Open	Charles Howell III
2008	Northern Trust Open	Phil Mickelson
2009	Northern Trust Open	Phil Mickelson
2010	Northern Trust Open	Steve Stricker
2011	Northern Trust Open	Aaron Baddeley
2012	Northern Trust Open	Bill Haas
2013	Northern Trust Open	John Merrick
2014	Northern Trust Open	Bubba Watson
2015	Northern Trust Open	James Hahn
2016	Northern Trust Open	Bubba Watson
2017	Genesis Open	Dustin Johnson
2018	Genesis Open	Bubba Watson
2019	Genesis Open	J.B Holmes



THE RIVIERA COUNTRY CLUB



リビエラグループのフラッグシップ

リビエラカントリークラブ
2028年ロス五輪に引き続き
2031年に全米オープン開催決定

リビエラカントリークラブで83年ぶり2回目の全米オープンを開催することが、正式発表されました

今後の予定

2026	RCC開業100周年 全米女子オープン
2028	ロス五輪 男女ゴルフ競技
2031	全米オープン



洋画家

東京藝術大学名誉教授

日本藝術院会員

絹谷 幸二さん【前編】

Koji Kinutani

文武両道の
ベスト・ファーザー

——文化勲章のご受章おめでとうございます。

絹谷 ありがとうございます。コロナ禍2021年の受賞でしたので、お祝い会なども時期が遅くなりました。

——現役第一線の洋画家として貪欲に創作活動をされる傍ら、後進を育成する指導者として、そしてメディア活動や講演を通じて芸術の魅力をわかりやすく一般社会に伝えるナビゲーターとして……超多忙な日々を送る中、「第16回ベスト・ファーザー賞in関西」も受賞。

リビエラリゾートクラブのメンバー様としてご一家でマリンスライフも満喫いただき、パワフルでかつこいお父さんでもある姿に心から感動しています。

絹谷 山を描くイメージがあるかもしれませんが、私は海が大好きで、マリンスライフもキャンプもとて

も気に入っているんです。私は「海なし県」の奈良出身ですが、小さいころから体を動かすことが好きで、中でも泳ぎが得意。釣りも好きで、明石や伊勢、白浜、それから琵琶湖ですね、しょっちゅう出かけていました。

絵描きというものはインドア派に見られがちで、どうしてもひ弱なイメージがあるでしょ？ でも、それは大間違い。小学一年生で油絵を習い始めたんですが、並行し



学生服の絹谷さん

“動かない絵”を見続ける それは人間だけの特質

インタビュー：渡邊華子

今回のゲストは、日本を代表する洋画家・絹谷幸二さん。文化功労者、文化勲章受章者、アフレスコ古典画技法研究の世界的権威、そしてご家族とともにリゾートライフを満喫するベスト・ファーザー。ダイナミックな画風で国内のみならず世界の画壇をリードし続ける絹谷さんの作品群をたっぷり紹介しながら、2号連続でお届けします。

Profile

絹谷 幸二

Koji Kinutani

きぬたにこうじ:1943年奈良県生まれ。68年東京藝術大学大学院修了。71年イタリア留学(〜73年)。74年安井賞受賞。77年文化庁芸術家在外研修員として渡欧。79年日動画廊にて個展(83年、89年)。87年日本芸術大賞受賞。89年毎日芸術賞受賞。97年長野冬季五輪公式ポスター原画制作。2001年日本藝術院賞受賞、日本藝術院会員となる。07年「絹谷幸二・幸太展」(日動画廊)。09年「絹谷幸二賞」開設。14年文化功労章顕彰。15年日本放送協会放送文化賞受賞。16年「絹谷幸二 天空美術館」開館(大阪)。21年文化勲章受章。現在 文化勲章受章、文化功労者、日本藝術院会員、独立美術協会会員、東京藝術大学名誉教授。

て野球部にも入って、大学を出るまで野球を続けていました。

学校行事だと、文化部と運動部で予算の取り合いになる。私は両方で部長を務めていたものだから、困っちゃったりしてね。

——文武両道、さらに部長まで務められたとはさすが。豊かなご経験がされた学生時代ですね。



野球少年時代



家族全員に手ほどきしたスキューバダイビング

スキューバで鍛えられた 独自の目線

絹谷 東京藝大に受かって上京すると、スキューバダイビングを始めた。当時はライセンスの制度もなく、教えてくれる学校もなかったから、アメリカから教則本を取り寄せて、自分で翻訳して独習してね。

仲間たちと夜明け前に車に乗りこみ真鶴あたりによく行ったものです。とれたての魚や貝は、格別のごちそうでした。

全身で海に対峙して、その恵みもいただく。大自然が、文字どおり血肉になりました。

——絹谷作品の大胆なまでの力強さは、青春時代に得た海のパワー

がベースなのですね？

絹谷 そうしたことも含めて現在にまで続く海とのさまざまな関わりが、私の創作活動にインスピレーションを与えてくれたのは事実ですね。スキューバというのは、頭を下にして潜っていくでしょう？ つまり逆立ちです。陸での生活とは目線が変わる。私がふつうの絵描きさんと違う目線を持っているとすれば、それは海での体験のおかげでしょう。

絵描きというとスポーツとは縁遠いイメージがあるかもしれませんが、皆さんが想像する以上に肉体的にハードで、実はアスリート並みの身体能力が必要だともいえる。私は好んで富士山を描きますが、新幹線に乗ると雄大な富嶽の姿に、誰もが「おおーっ」と感動しますよね？ でも、新幹線は猛スピードで通り過ぎてしまう。あつという間に視界から消えてしまう対象を、一幅の絵画に静止できるのだから、われわれ絵描きの動体視力は一流のスポーツ選手にも負けてない。

——野球の名選手は「ボールが止まって見える」と言いますね。
絹谷 そうそう。絵描きの場合は、動体視力というより静止化視力と

でも言うべきなんでしょうが。

大自然に感動し表現 それゆえ文明が生まれた

絹谷 実際に山を絵にするときには、絵描きは山を眺めながら描きます。つまり、びくとも動かないものを何時間も何日間も見続ける視力と気力が要る。そして鑑賞者も、できあがった動かない絵をじっと見つめてくれる。

こういう物の見方ができるのは、人間だけです。他の動物の目は動くものだけに反応します。動かないものを飽かず眺めていられるのは人間だけの特質。太古の昔から人間は自然を見つめ、感動し、表現してきました。その行為が脳を発達させ、文明が生まれた。それが絵というものの根源なのだと思います。

早熟な少年を巨匠にした “本物”に触れた原体験

——小学一年生から油彩を始めたというのは、ずいぶん早熟ですね。

絹谷 私の生家は、奈良・興福寺のすぐそば。明治半ばに曾祖父が創業した「明秀館」という料亭で、かつては政財界の大立者や文化人が

集うサロンのような場所でした。

曾祖父は商才に長けた人でいくつもの事業で成功し、美術品のコレクターとしても知られた。生家では今も親戚が料理屋を営んでいます。そういう商家の環境に生まれて、幼いころの私は家では一人で過ごすことが多かった。姉がいるのですが、14歳も年が離れていたら遊び相手にはなりません。

ただ、家の前には興福寺の五重塔があつて、それを絵に描いていると時間も淋しさも忘れることができた。どんどん描き続けていると、幼いなりに上達していつて、誰に習ったわけでもないのに遠近法も身につけていきました。何しろ奈良市の真ん中でしょう？ 周囲は国宝級の優れたモチーフだらけ。そのうちに、東大寺の構内でデッサンすることも許されるようになった。

——早いうちから“本物”に触れることができた、と。

絹谷 その点については、絵描き仲間から羨ましがられますね。

奈良の文物が イタリアで自信をくれた

絹谷 日本古来の文物が持つ優美



「黄金朝陽富嶽(めぐる十二支)」2020年

「アンジェラと蒼い空Ⅱ」1976年
昭和51年度文化庁買い上げ優秀美術作品 東京国立近代美術館蔵

◀「蒼天大地・心に浸みる悲しみ」2022年



「日月桜花爛漫富士」2022年



「銀嶺の女神」1997年 長野冬期五輪ポスター原画

なフォルム、一筋縄ではいかない色彩を目の当たりにして育ったことは、私の財産だと思っています。藝大卒業後に留学したイタリアで痛感しました。

たいていの人は、現地へ行つて本物のルネサンス芸術に触れると気圧されてしまうものですが、私はそうはならず済んだ。「同じ人間の営み」として向こうの文化を捉えることができた。自分の国の歴史の厚みや、奈良や京都、鎌倉などに遺された芸術文化の深さをよく知っていたからです。

築300年以上の 生家で暮らして

——ご生家も文化的価値で知られています。

絹谷 母屋から正徳2（1712）年の棟札が見つかるから、



「ヴェネツィア祝歌（いっぴうた）」絹谷幸二さんのそれまでの価値観や美意識を一変させた、ヴェネツィアでの体験。眩い色彩を放つ絹谷藝術の原点を振り返る、絹谷ワールド誕生へのオマージュです。奈良県立万葉文化館開催の「飛鳥の祝歌 絹谷幸二展」と連携展示。

絹谷幸二 天空美術館
大阪 梅田スカイビル
開催中～2023.12.10まで

建てられたのは江戸時代半ばより前のこと。ほとんどその当時のまま、改修もしていません。

それでお客さんを迎えるお店として使われているし、私のアトリエもあります。

——海に親しむことで鍛えた独特の目線と、生まれ育った奈良と家の歴史。その両方が、現代洋画の第一人者として受けた文化勲章のバックグラウンド。そのうえ、ベスト・ファアザーという現代的な価値観も体现されている絹谷さんは、「古き良きモノを大切にし、大自然と共に心豊かに生きる」を理念とするリビエラにとって、まさに同じ道の前方をゆく先達です。

次号では、作品に込められた哲学や、後進に託す思いに迫ります。



イタリア留学時代



壁画を描いている若い頃▶



愛犬と過ごす
リビエラ逗子マリーナ

Spend time with your dog at Riviera



Ristorante A0
モダンイタリアン



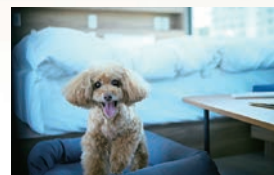
MALIBU FARM
カリフォルニアキウジヌ



MALIBU FARM CAFE
リードフックあり



MALIBU HOTEL
ラグジュアリーホテル



SPACE KEY POINT
トレーラーホテル



DOGGY GARDEN



愛犬家も犬が苦手な方も心地良い、ペットと人が共生する豊かなまちづくりを目指して

リビエラ逗子マリーナご利用時はリードを必ず着用するなど、マナーを正しく守りましょう

RIVIERA ART FAIR 2023

ーアートと暮らすー

2023.11.1 Wed.-3 Fri.

10:00-17:00 (最終日は16:00まで)

@リビエラ東京



お問合せ

リビエラ東京
03-3981-3233

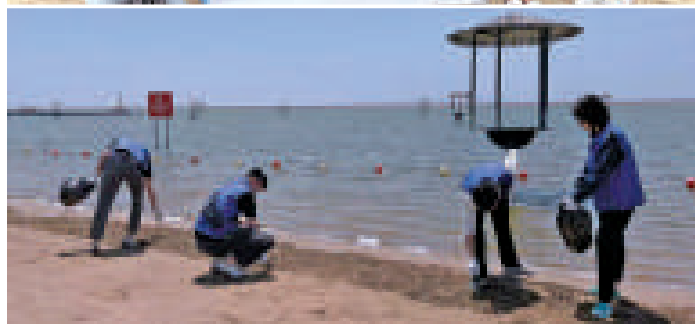


ART SHONAN 湘南芸術祭

2023.11.10^日-12^日

@リビエラ逗子マリーナ





上から池袋、ロサンゼルス、上海、「G20メガ・ビーチ・クリーンアップ」インド大使館、環境省の皆さまと

海外でもLOVE OCEAN開催
ロサンゼルスや上海でも

5月21日は、世界一斉に「G20メガ・ビーチ・クリーンアップ」が開催されました。横須賀・三浦にまたがる和田長浜海岸での「LOVE OCEAN リビエラ湘南

神奈川をつないだリビエラ湘南ビーチクリーンアップは、海を愛する人たちの想いをのせ、日本を飛び出し、世界へとタスキをつなぎました。

会ターミナル駅の池袋でもクリーンアップ活動を実施。立教大学や早稲田大学など各大学の学生や、商工会議所、都内の企業、地域住民など大変多くの方が参加。海と街がつながっている意識を共有し、活動を通じて「まち」で海への関心が高まりました。

G20とのコラボ
世界の海へとタスキをつなぐ

本からのゴミが海流にのって海外に流れ着いたかもしれないし、また他国からのゴミを日本で拾っているかもしれない。『つながる』という想いをグローバルに感じ合いました。

海の無い大都会でも
街からLOVE OCEAN大作戦

海ゴミの7〜8割は「まち」で発生したゴミだといわれています。世界海洋デーの6月8日、大都会



開催レポート

第4回 LOVE OCEAN 2023/5/13～6/18

海から考える環境と広域な地方創生
美しい海には人が集まる
G20とコラボ
湘南コースト
SHONAN Coastビジョン



地球と子供たちの未来のために
LOVE OCEANプロジェクト

常に海に身を置く私達リビエラから見える陸は、県市町の境界線のない美しいひとつのランドスケープ。そして、環境問題の影響もまた、人が定めた境界線を越えてしまうことに危機感を覚えています。NPO法人リビエラ未来創りプロジェクトが主催するLOVE OCEANプロジェクトでは、あらゆる枠を越えた共創を目指しています。

美しく豊かな海を守り、海の魅力を発信するLOVE OCEANプロジェクトは、2021年に逗子・葉山・鎌倉の3市町からスタートし、第2回は6市町、第3回、第4回は神奈川県沿岸全域13市町連携へと拡大。

去る5・6月に開催した「第4回LOVE OCEAN」では、G20とのコラボレーションが大きなトピックです。また、ビーチクリーンや海のシンポジウムに加え、クリーンを掲げた各種スポーツとのコラボ、藻場再生見学会等も取り入れられました。人と人・海とまち・まちとまちをつなぎ、「海から

考える環境と広域な地方創生」に取り組んでいます。

「湘南コースト(三浦・湯河原)」
リビエラ湘南ビーチクリーン

米ウエストコーストや豪ゴールドコーストに倣い、リビエラでは神奈川県沿岸の湯河原から三浦までを「湘南コースト」と名付けました。

「リビエラ湘南ビーチクリーン」駅伝は、今回も湘南コーストを4日間かけて巡りました。例年快晴が続くGW明けにもかかわらず、気候変動の影響なのか雨予報という心配もありましたが、不思議とビーチクリーン時間には雨が上がってくれました。各市町の首長をはじめとした県市町の職員、地元住民、企業・団体、漁業者、マリンスポーツ愛好家などのほか、LOVE OCEANプロジェクトに賛同された方々が東京や千葉、埼玉からもビーチクリーンのために集まりました。

海はつながっているので海洋ゴミ問題は一カ国では対処できません。G20では、2019年に大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを掲げ、そして今年は、議長国インドから「行動も一緒にやろう」と呼びかけられました。「LOVE OCEAN～リビエラ湘南ビーチクリーン@和田長浜海岸～」が日本会場になり、世界中で5/21にビーチクリーンが行われました。グローバルな話も、一つ一つのアクションは個人の行動から始まります。このような活動を神奈川県を中心にリビエラが広げてくれていることに感謝しています。

環境省 水・大気環境局 海洋環境室
室長 杉本留三氏



「街からLOVE OCEAN大作戦@池袋」に参加しました。よく見ると、側溝の隙間などにまるで隠すかのように捨てられたタバコの吸い殻が目立ち、こうして都心から排水溝を通して川、そして海に流れてしまうのだという危機感を感じました。ビーチクリーンに興味はあったものの、なかなか実行に移せませんでした。池袋では馴染み深いリビエラが呼びかけてくれたおかげで、海に隣接していない池袋の街中でゴミ拾いをするのも海を守ることにつながると知れたことは、とても貴重な発見でした。

立教大学ボランティアサークル Eddy
副代表 龍華英霞氏





2022年11月末 リビエラ逗子マリーナ設置時の
カジメ



2023年6月 半年後、だいぶ成長



海に潜って生育状況を観察したダイバーたち



陸上から藻場再生場を見学



ブルーカーボンベルトを目指した藻場再生のセミナー



コンポストステーションを見学



リビエラLOVE OCEAN マルシェ

**藻場再生見学会
ブルーカーボンベルト®でつなぐ**

ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所では、藻場再生をベルト状につなげる「ブルーカーボンベルト®」を提唱すると共に、2022年からマリーナ内での藻場再生に挑戦しています。

諸磯で発見された、通常より3倍速く成長する早熟カジメをリビエラ逗子マリーナとリビエラシーボニアマリーナに設置し、試験研

究として育成しています。また同時に、相模湾全体へブルーカーボンベルトを広げていく方策も模索しています。

研究成果の共有として、リビエラ逗子マリーナでのカジメ育成状況をご覧いただける見学会を今回特別に2日間開催しました。

ダイバーが海中から見学した6月13日には、三浦、横須賀、葉山、逗子、藤沢、小田原など湘南コースト各地域から参加。ダイバー同士すぐに打ち解け、各地域の取り組みや課題が共有されました。

見学会ではさらに、コンポストを活用した食の完全循環や太陽光発電など、環境に配慮したリビエラ逗子マリーナ内で取り組むカーボンニュートラルツアーも実施。参加者同志の交流も生まれ、「海を愛する人」の輪が広がり、多くの反響をいただいています。

サステナブルなマルシェ

LOVE OCEANで連携している神奈川県沿岸13市町の出店者や環境に配慮した商品が一堂に会した「リビエラLOVE OCEANマルシェ」を6月4日と18日に実施。早朝よりモーニングマルシェも同時開催し、多くのお客様にお楽しみいただきました。

**釣り大会とセーリング大会でも
クリーンアクション**

5月21日はマダイとマアジの釣果を競う「リビエラフィッシングマスター2023初夏」を、6月11日は「クリーンセーリングレガッタ2023」を開催。この2つの大会での新しい試みは、海上浮遊ゴミを拾うこと。さらに、マイ



海に浮かぶペットボトルを拾う



釣り船から海面のビニールゴミを拾う



材木座海岸でのビーチクリーン後にリビエラ逗子マリーナのテニスコートでタグラグビー。小学生から大人まで参戦。

ボトルを持参したり、プラスチック製品の持ち込みを避けるなどにも取り組みました。

特に釣り大会では、海上でゴミを拾うことを検量条件に盛り込み、検量会場のリビエラシーボニアマリーナには、海上浮遊していた発泡スチロールやペットボトルなどがたくさんプラスチックゴミが届けられました。

マリンスポーツを楽しむ方々は環境意識が高い方も多い。釣りやセーリングを楽しみながら、海洋自然環境への貢献ができることに、改めて気づかされたと感じが寄せられました。

各種スポーツとコラボレーション

「スポーツは環境が整っていて



平塚では日本バレーボール協会とコラボ。川合俊一氏や川合庶氏、オリンピアの村上めぐみ選手やビーチバレー選手たちと。



こそ」と、環境への高い意識をもつ日本バレーボール協会や神奈川県ラグビーフットボール協会、湘南ベルマーレともコラボ。

6月4日にはリビエラ逗子マリーナでクリーンを掲げたタグラグビー大会を初開催しました。もちろん大会とビーチクリーンはセットです。

**国際環境認証ブルーフラッグ
海沿いデジタルスタンプラリー**

ヨーロッパを中心に「ブルーフラッグ」を取得している場所を旅行先に選ぶトレンドが定着。湘南コーストにはアジア唯一のブルーフラッグマリーナであるリビエラ逗子マリーナのほか、3つのブルーフラッグビーチがあります。

海沿い観光資源の魅力発掘や再認識のため、湘南コーストを巡るデジタルスタンプラリーを実施。「意外と楽しかった」と参加者から大好評でした。

**自転車は地球にやさしいモビリティ
ツール・ド・湘南コースト開催**

LOVE OCEAN期間中、ナショナルサイクルートでもある風光明媚な太平洋岸自転車道をサイクリングする「ツール・ド・SHONAN Coast」を実施。

自転車は、「環境」「健康」「観光」「教育」「経済」「交通」など、さまざまな分野に効果をもたらすモビリティでもあります。海のあるまちに新たな人の流れを生むことを期待して、サイクルツーリズムを推進しています。



Trans-Sagami Yacht Race

2023

2023.8.5sat.~8.6sun.

夏の恒例、下田から三浦まで相模湾を満喫するヨットレースを、
今年も8月5日(土)・6日(日)に開催します。

エントリー受付中



40th Riviera Zushi Marina Yacht Race

Kayama Yuzo Invitational

WAKADAISHO CUP

2023.10.8sun.・14sat.

レース初心者から本格レーサーまで楽しめる、多くの参加艇が集まるオープンレース。詳細は、決定次第オフィシャルホームページで公開いたします。どうぞお楽しみに。

クルーザーヨットレース 10月8日(日)

ディンギーヨットレース 10月14日(土)

種目:クルーザーヨットレース/ディンギーヨットレース



お問合せ

リビエラリゾート ヨットレース事務局

TEL.046-882-1286 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286
yachtrace@riviera.co.jp <https://www.riviera.co.jp/marina/event/>



海に想いを馳せ
海から未来を考える

「第4回 LOVE OCEAN」の締めくくりの6月18日、毎回好評の「海のシンポジウム」を開催。このシンポジウムでは環境問題だけでなく、観光レジャー・水産・マリンスポーツ・芸術・エンターテインメント・海文化・地域経済まで、海に想いを馳せ『海から考える未来』をテーマに海のあらゆることを肩ひじ張らずに語り合っています。

毎回多彩な顔触れですが、今回も女優、漁師、大学教授、経済人、芸術家、海の魅力を知り尽くしたシーマン、高校生まで実に幅広い業界・世代の方々に、それぞれの視点からお話いただきました。

まるでテレビを見ているかのようにノンストップで話が繰り広げられるこのシンポジウムは、海の現状から始まり、それぞれの活動、そしてワクワクする海の未来のための新たな取り組みまで、エッセンスが凝縮。皆さまのお話には、海から考える豊かな未来へのヒントがたくさん散りばめられています。今後も環境保全と地域経済の活性化を目指していきます。

【登壇者】

【来賓挨拶】

桐ヶ谷寛氏(逗子市 市長)

【基調講演】

鈴木寛氏(東京大学公共政策大学院 教授)

【水産の視点から語る相模湾の現状】

小西弘子氏(小坪漁業協同組合 理事/弘丸船長)

今井利為氏(公益財団法人神奈川県栽培漁業協会 専務理事)

畑中佐知子氏(神奈川県立海洋科学高等学校 教員)

大谷那月氏(神奈川県立海洋科学高等学校 高校3年生)

【水族館の視点から語る相模湾の現状】

崎山直夫氏(株式会社新江ノ島水族館 館長)

【かまぼこ屋が考える海のこと】

鈴木梯介氏(小田原箱根商工会議所 会頭/株式会社鈴廣蒲鉾本店 取締役相談役)

【LOVE OCEAN 報告・湘南コーストビジョン】

高橋賢叶くん(ジュニアヨットクラブ)

渡邊華子(NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト 理事長/

株式会社リビエラリゾート 専務取締役/

一般社団法人ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所 代表理事)

【サステナブルツーリズム・ブルーツーリズム】

後藤直哉氏(株式会社makes 代表取締役/JTB 総合研究所 客員研究員)

ノエミ・ゲルドラ氏(株式会社makes マーケティングアシスタント)

【BLUE FLAG(海辺のサステナブル)】

伊藤正祐氏(特定非営利活動法人 FEE Japan 理事長)

増田元秀氏(神奈川県海水浴場組合連合会 常任顧問)

谷川良太(株式会社リビエラリゾート 取締役)

【マリンスポーツの視点から語る相模湾の魅力】

山梨崇仁氏(葉山町 町長)

国見悦朗氏(日本オブティミストディンギー協会 顧問/江の島ヨットクラブ 理事)

小林昭雄(株式会社リビエラリゾート 代表取締役社長)

【海のライフスタイル】

紫舟氏(書家/芸術家)

大河内奈々子氏(女優/フラワースタylist)

【大洋でのカーボンニュートラル・世界からの視点で語るサステナブル】

射場純一氏(OMT 戦略企画担当役員/エコイノ ビジネス戦略担当役員)

【エンターテインメントを活用したSDGs】

田嶋康弘氏(株式会社W TOKYO 東京ガールズコレクション実行委員会)

《主催》リビエラSDGsアクション実行委員会(NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト) 《共催》株式会社リビエラリゾート/株式会社リビエラ東京/一般社団法人日本海洋アカデミー
《後援》環境省/国土交通省/神奈川県/逗子市/鎌倉市/葉山町/三浦市/横須賀市/藤沢市/茅ヶ崎市/平塚市/大磯町/二宮町/小田原市/真鶴町/湯河原町/かながわ海岸
美化財団/公益財団法人日本バレーボール協会/一般社団法人神奈川県ラグビーフットボール協会/公益財団法人日本セーリング連盟/神奈川県新聞社/株式会社テレビ神奈川/特定
非営利活動法人日本災害医療支援機構(JVMAT)
《協賛》株式会社ウィンフィールドジャパン/アサヒビール株式会社/株式会社清光社/株式会社JTB

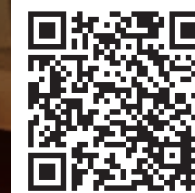
SUMMER MARINA 2023

7/29sat.-8/12sat.

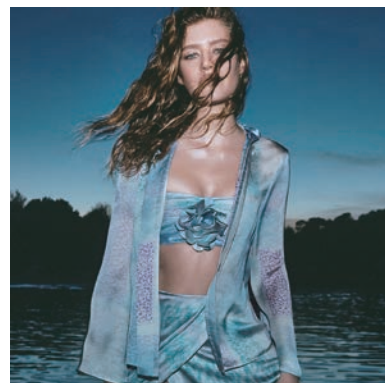
この夏、最高のResort Momentを！

会場：リビエラ逗子マリーナ

イベント詳細・
ご予約はこちら



POPUP STORE



GIORGIO
ARMANI

ジョルジオ アルマーニが贈る、
優雅な夏のリゾートを体験できる
ポップアップストア

8/1tue.-8/12sat.

POOLSIDE LOUNGE

音楽 × サンセット × お酒と食事 × プールサイドと海

ご予約は右上のQRコードから / 表記価格はすべて税込

WHITE PARTY 愛犬同伴可

7/29sat. 16:00- 日没18:48

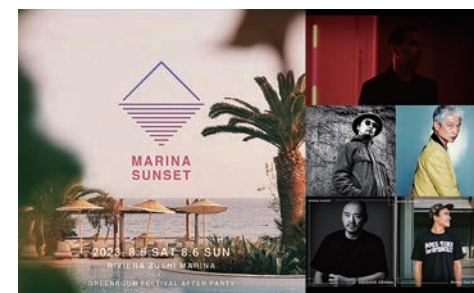
つのだ☆ひろ DJ:George Cockle
「夕風トワイライト」×
ホワイトパーティー

メリー・ジェーンでおなじみのつのだ☆ひろがお届けする
R&Bメドレー。
大人: ¥14,000 子ども(4~12歳): ¥6,000
子ども(3歳以下、食事と席あり): ¥6,000
※ビュッフェ料理・ワンドリンク付・席料
※テーブル席。先着順でお席にご案内します。



8/5sat.6sun.
GREENROOM FESTIVAL AFTER PARTY
MARINA SUNSET

グリーンルームが贈る、GREENROOM FESTIVALのアフ
ターパーティー。国内外のDJによる良質なダンスミュー
ジックをお楽しみください。
1日券: ¥8,000
2日通し券: ¥14,000
VIPチケット1日券: ¥16,000



8/11 holiday&fri. 17:00-
IKURA & DJ OSSHY Presents
OCEANS DISCO
Riviera Zushi Marina Soul Pool Party

IKURAとDJ OSSHYによるコラボライブ。
前売券: ¥10,000
当日券: ¥12,000
※飲食代別
※指定の芝生エリア内で自由席です。
テーブル、椅子はございませんので、敷物をご用意ください。

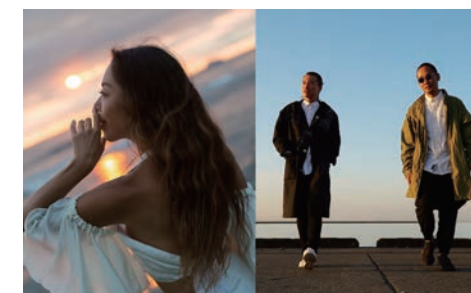


WHITE PARTY 愛犬同伴可

8/12 sat. 16:00- 日没18:35

ChiyoTia & DJ53+84
「Island Breeze」×
ホワイトパーティー

アーバン×リゾートをテーマにおしゃれな夜を演出。
大人: ¥10,000
子ども(4~12歳): ¥4,000
子ども(3歳以下、食事と席あり): ¥4,000
※ビュッフェ料理・ワンドリンク付
※テーブル席。先着順でお席にご案内します。



Ristorante AO MALIBU FARM ZUSHI MARINA

7/29sat.-8/12sat.

リビエラ逗子マリーナにあるレストラン
「リ스토랑テAO」「MALIBU FARM」では、
サマーマリーナ限定ドリンクをご用意！
15日間限定スペシャルドリンクをぜひ一緒
にお楽しみください。

WHITE PARTY

全身白のドレスコードで
ご参加ください



フランス発祥のホワイトパーティーは世界で
一番美しいと言われる、ドレスコードを白に
定めたパーティー。夕刻のサンセットから時間
の移ろいとともに、プールサイドに幻想的な
白い世界が出現します。当日の高揚感はもちろん、
イベント開催時までご夫婦やお仲間で「何を
着ていこうか？」と会話がはずむのも楽しみの
ひとつです。

夏の夜長を元料亭で グリル & ビアテラス in リビエラ東京

料亭「白雲閣」開業から74年を迎えた緑あふれるテラスでビールを片手に♪
シェフが腕を振るうグリル&ビュッフェ料理にジャズの生演奏

ビール
グリル料理
リビエラ東京
都会の杜
ジャズの生演奏
気の合う仲間と
残暑のひととき
今こそ夏を楽しもう

8/18
FRI.
start18:30-

8/19
SAT.
start17:00-

8/20
SUN.
start17:00-

おひとりさま
ワンドリンク付

¥6,600
(税・サービス料込)

シェフのアミューズブーシュ(ひとくちのお楽しみ)
シェフ特製、充実のビュッフェ料理
テラスで豪快に仕上げるグリル料理

+¥1,100 2時間フリードリンク
+¥2,200 ソムリエコレクションパッケージ
*単品ドリンクもカクテル・モクテル・トロピカルジュースなど豊富!

お問合せ & ご予約はWEBかお電話で リビエラ東京 03-3981-3233 最新情報はこちら→



シーボニア クラブハウスレストラン

今年登場!早くも人気メニュー
ふわふわのパンケーキ



口に入れた瞬間、やわらかく溶けていく食感のふわふわパンケーキを一枚一枚丁寧に焼きあげています。定番のスイーツ系のほか、サラダやベーコンエッグなどを添えた食事系も選べいただけます。

【時間】平日 ランチ11:00~16:30(15:30L.O.)
土日祝 ランチ11:00~15:30L.O.
ディナー17:00~20:00(19:00L.O.)
※パンケーキは各ラストオーダーの30分前まで注文可能
※土日祝のカフェタイム(15:30~17:00)では取り扱いなし
【金額】1,320~2,420円(税込)※種類により異なる
【定休】季節により異なるためHPでご確認ください

ご予約・お問合せ

シーボニア クラブハウスレストラン TEL.046-882-1216



レストランテAO 逗子マリーナ

9/1(金)~11/30(木)
葉山牛で祝う七五三プラン



お子さまの成長を家族で祝う「七五三」。オーシャンビューの絶景レストランでのお食事は、お子さまにとっても特別な思い出になることでしょう。希少な葉山牛も味わえるスペシャルコースで大切な日を祝いませんか?親子三代でのお祝いが毎年人気です。

【時間】ランチ 11:30~15:30(14:00L.O.)
【金額】8,800円(税込・サービス料別)
※1名分のお子様プレート、記念写真、
お祝いメッセージプレートプレゼント
【定休】火曜

ご予約・お問合せ

レストランテAO 逗子マリーナ TEL.0467-25-0480



リビエラ逗子マリーナ

SHONAN JAZZ BY THE SEA
~リビエラ逗子マリーナのジャズライブ~



9/2(土)
小野リサ

10/7(土)
MALTA ジャズカルテット

11/4(土)
寺井尚子カルテット

リビエラ逗子マリーナで毎月好評の大人が集うジャズライブ。目の前に水平線が広がり、幻想的なサンセットを眺める絶好のロケーションの中、日本を代表する豪華なアーティストの演奏をライブハウスのように近距離でお楽しみいただけます。

【ジャズライブ参加者限定アーリーディナー】
当日ライブ前のディナー好評受付中
【時間】16:30~ 【金額】9,075円(税・サービス料込)
【TEL】0467-23-0087(マリブファーム 逗子マリーナ)

【宿泊】
ホテル宿泊をご希望の方は
事前にお問い合わせください
【TEL】0467-23-0077(マリブホテル)

ご予約・お問合せ

湘南ビーチFM TEL.046-870-3313



スペースキーポイントリビエラシーボニアマリーナ

10/30(月)まで
開業1周年記念BBQプラン



昨年7月のオープン以来ご好評いただいているスペースキーポイント(三浦)から、感謝をこめて1周年記念特典を用意。ハーバー越しに富士山やサンセットを望めるサウナが大人気。9月末までは「OCEAN POOL」もお楽しみいただけます。

【特典】①マグロのカマグリルプレゼント
②乾杯酒1杯プレゼント

【金額】時期・部屋により異なるためHPでご確認ください
※サウナやOCEAN POOLはオプションです

ご予約・お問合せ

スペースキーポイント リビエラシーボニアマリーナ
TEL.046-884-1006



GIORGIO ARMANI

MARE POP UP STORE RIVIERA ZUSHI MARINA

8月1日(火)～8月12日(土)

11:00 - 19:00

リビエラ逗子マリーナ シースケイプ